

「かながわグランドデザイン」の評価について

1 政策のマネジメント・サイクル

- かながわグランドデザイン第1期実施計画では、計画の着実な推進を図るため、政策評価を総合的に実施し、評価結果に基づいて翌年度の政策運営の改善を図る「政策のマネジメント・サイクル」により、計画の進行管理を行った。
- 第2期実施計画においても引き続き、計画の着実な推進を図るため、実施計画に示した施策の実施状況について政策評価を行い、その評価に基づき政策運営の改善を図る「政策のマネジメント・サイクル」により、計画の進行管理を行う。

【参考】かながわグランドデザイン 第2期実施計画における政策のマネジメント・サイクル



2 「かながわグランドデザイン 第2期実施計画」の特徴

- 2025（平成37）年を目標年次とした「基本構想」の実現に向けて、2015（平成27）から2018（平成30）年度の4年間に取り組む政策を「主要施策・計画推進編」と「プロジェクト編」で示した。
- 「主要施策・計画推進編」では、県の政策の全体像を総合的・包括的に示す「主要施策」を示した。
- 「プロジェクト編」では、県の重点政策を分野横断的にまとめ、ねらいや具体的な取り組み、工程などを23のプロジェクトで示すとともに、毎年度の評価に当たって、様々な角度からプロジェクトの達成状況を検証していくため、プロジェクトごとに複数の数値目標を設定した。

3 計画の推進に当たっての留意事項（総合計画審議会答申から抜粋）

「計画を着実に推進し、進行管理を行っていくため、事業の実施状況やプロジェクトに掲げた数値目標の達成状況、県民ニーズや社会環境の変化を示す統計データなどを活用して、引き続き総合的な政策評価を行う必要があります。また、その結果を県民に分かりやすく示すとともに、評価に基づいて毎年度の政策運営を改善する「政策のマネジメント・サイクル」により、計画の目標達成に向けて効率的・効果的な政策運営を行っていくよう求めます。」

4 毎年度の評価手法（案）

(1) 基本的な考え方

- 第1期実施計画における評価手法を踏襲し、毎年度の終了後、プロジェクトごとに数値目標の達成状況や事業実施状況などにより、県の事業部局による一次評価（自己評価）を行い、さらに、評価の客観性を確保するため、総合計画審議会による二次評価（第三者評価）を行って、その内容をとりまとめて公表する。

(2) 具体的な評価の方法等

実施時期	事業実施年度終了後、7月上旬に公表。		
評価対象	県の重点政策を分野横断的にまとめ、具体的な取組内容を示した「プロジェクト」		
実施主体	一次評価	県の事業部局（自己評価）	
	二次評価	総合計画審議会（第三者評価） （部会で評価案を作成し審議会で審議）	
内 容	一次評価	数値目標の達成状況	プロジェクト毎に複数設定した数値目標の達成状況を分析
		総合分析	数値目標の達成状況に加え、プロジェクトに掲げた事業の取組み状況、県民ニーズの動向、社会環境の変化を示す統計データなどを活用して多角的に分析
		今後の課題と対応方向	総合分析により抽出されたプロジェクト推進上の課題や政策運営の改善を含めて今後の方向性を整理
	二次評価	「数値目標の達成状況」や「総合分析」の妥当性、今後対応が求められる課題と対応方向について評価	

(3) 評価の流れ

